

令和5年度 第1回太田地域協議会会議録

令和5年4月26日

太田地域協議会

令和5年度 第1回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■委嘱状交付	2
■支所長あいさつ・職員紹介	2
■会長および副会長の選任	3
■会議録署名委員の指名	5
■説明・報告	5
(1) 地域協議会委員及び委員の役割等について	
(2) 令和4年度地域枠予算活用事業について	
(3) 令和5年度太田支所主要事業について	
■協議	6
(1) 大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員の推薦について	
(2) 地域協議会開催時間について	
■事業説明	8
(1) 若者チャレンジ応援プロジェクトについて	
■その他	10
■閉会	11
■署名	12

令和5年度 第1回太田地域協議会 会議録

■日 時：令和5年4月26日 午前10時02分

■会 場：太田支所 2階会議室

■出席委員：9名

熊谷 隆雄、佐藤 隆康、清水川 徹、門脇 逸人、
清水川 幹宏、高橋 美智子、小松 聖子、安達 美保、
鈴木 美子

■欠席委員：3名

高橋 英子、長澤 宏明、高橋 伸

■出席職員：8名

藤澤 寿史（支所長） 小松 伸子（市民サービス課長）
黒澤 伸朗（農林建設課長） 佐藤 彰（中仙・太田建設水道事務所長）
草薨 晶子（公民館長） 太田 敬（地域活性化推進室参事）
板谷 予理子（地域活性化推進室主任）

※次第8「事業説明」のため出席

新田 雅昭（企画部若者チャレンジ推進室長）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 支所長あいさつ・職員紹介
- 4 会長および副会長の選任
- 5 会議録署名委員の指名
- 6 説明・報告
 - (1) 地域協議会委員及び委員の役割等について
 - (2) 令和4年度地域枠予算活用事業について
 - (3) 令和5年度太田支所主要事業について
- 7 協 議
 - (1) 大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員の推薦について
 - (2) 地域協議会開催時間について
- 8 事業説明
 - (1) 若者チャレンジ応援プロジェクトについて
- 9 その他
- 10 閉 会

(午前10時02分 開会)

○事務局（地域活性化推進室）

定刻となりましたので、令和5年度第1回太田地域協議会を始めます。私は、太田支所地域活性化推進室、事務局の太田と申します。今回は委員改選後、初の地域協議会であり会長が決まっていません。本来、地域協議会の議長は会長が務めることとなっておりますが、次第4で会長が選任されるまで事務局が議事の進行をさせていただきます。

次第2、第6期地域協議会委員となりました皆様に、藤澤支所長が委嘱状を交付いたします。お名前を読み上げますので、その場でご起立願います。次の方に支所長が移動しましたらご着席ください。

【支所長 委嘱状交付】

○事務局

続きまして、次第3「支所長あいさつ・職員紹介」です。

○藤澤支所長（以下「支所長」と表記）

皆さんおはようございます。この4月から太田支所長を拝命しました、藤澤寿史と申します。どうぞよろしくお願いいたします。地域協議会委員の皆さんも新たな任期になり、半数以上の方が新しい委員となり顔ぶれも変わっております。皆様には、今後3年間太田地域が笑顔で安心して暮らせるためのまちづくりにお力添えをお願いいたします。

太田地域の3月末での人口は5,559人となっております、70歳以上の高齢者は1,823人であり33%となっております。3人に一人が高齢者となります。一方、昨年度生まれた人は24人となっております。正に少子高齢化であります。加えて、家族の形も変わってきており、一人暮らし、自立生活が困難な人、高齢者世帯なども増加ってきており、身近な地域で支え合い、助けあわなければ地域が存続できなくなる状況であると思います。

今、地域の力が試されている時だと思います。今後の地域社会を維持していくためには、行政と地域が一緒になって考え、行動していかなければなりません。地域協議会は、地域の各種団体と住民が連携して協力し、地域の課題解決のために知恵と力を出し合っていく組織となります。地域の交流促進を図ることも大切な地域づくりとなると思います。地域協議会委員の皆様にはどのようなことでも結構ですので、地域の声を届けてくださるようお願いいたします。

地域の課題解決や活性化を推進するにはすぐに実施できるもの、また、時間をかけてじっくりと取り掛からなければならぬものがあると思います。そのためには、この太田地域を良く知るということも重要でありますので、地域のことを知るための研修なども実施できればと考えております。

今後3年間、委員の皆様と一緒に地域づくりを行ってまいりますので、どうぞよろしく

お願いいたします。

ここで、4月の定期人事異動によりまして、職員の異動がありましたので、職員の紹介をさせていただきたいと思っております。

【支所長 職員紹介】

令和5年度、太田支所はこの体制で業務を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、次第の4「会長および副会長の選任」を行います。

はじめに、本日は定数の半数以上の委員が出席しておりますので、会議が成立することをご報告いたします。なお、会議録作成のため、発言の際はマイクをご使用くださいますよう、お願いいたします。

会長および副会長については「大仙市地域自治区の設置等に関する条例」第6条第1項の規定により委員の互選により定めることになっております。はじめに会長の選任を行います。選任の方法について、どのように取り計ればよろしいかお伺いいたします。ご意見はありませんでしょうか。

○清水川徹委員

清水川です。会長の選任についてですけど、1年目の委員には荷が重いと思っております。ここは、2期目で横沢部落総代も務めている、熊谷隆雄さんが適任だと思います。熊谷隆雄さんを会長に推薦します。

○事務局

ただ今、会長に熊谷隆雄委員を推薦したいというご意見がございました。皆様にお諮りいたします。熊谷隆雄委員を選任することについて、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議が無いようですので、会長に熊谷隆雄委員を選任することに決しました。それでは熊谷会長、一言ごあいさつをお願いします。

○熊谷隆雄会長（以下「会長」と表記）

会長に推薦していただきましてありがとうございます。2期目に入るわけですけども、なかなか十分に参加できなかつたり、議論に十分入っていけないところも3年間あったかなと思って反省をしております。新しい会長という立場で、どこまでできるかわからないところもありますけども、一生懸命頑張って、良い協議会になるように努めてまいります。

と思いますので、皆様どうぞよろしく申し上げます。

○事務局

ありがとうございました。ここで、進行の打ち合わせを行いますので、暫時休憩とさせていただきます。

(午後10時14分 休憩)

(午後10時17分 再開)

○事務局

それでは会議を再開させていただきます。今後は「大仙市地域自治区の設置等に関する条例」第8条第4項の規定に基づき、会長が議長となり、会の進行をします。よろしく申し上げます。

○会長

それではよろしく申し上げます。続きまして、副会長の選任を行います。選任の方法について、どのように取り計らえばよろしいかお伺いいたします。

○清水川委員

清水川です。副会長の選任についてですが、副会長は会長の代理ですので、会長の一任でよろしいかと思えます。

○会長

ただ今、会長一任というご意見がございましたが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議が無いようですので、私が副会長を選任いたします。副会長は、佐藤隆康委員を選任いたします。よろしく申し上げます。

それではさっそく、佐藤副会長から一言ごあいさつをお願いします。

○佐藤隆康委員 (以下「佐藤委員」と表記)

三本扇の佐藤隆康と申します。1期目はあまりきちんとした発言もできないまま、終わってしまったような気がします。今回は副会長ということで、会長の補佐役として務めてまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

○会長

はい、ありがとうございました。よろしく願いいたします。

続きまして、次第5「会議録署名委員の指名」をいたします。会議録署名委員は、佐藤隆康委員、清水川徹委員をお願いいたします。

次に、次第6「説明・報告」に入ります。(1)「地域協議会委員及び委員の役割等について」、事務局の説明をお願いします。

○事務局

【地域協議会委員及び委員の役割等について、配布資料に基づき説明】

○会長

はい、ありがとうございました。ただ今、事務局の方から説明がありました。なかなか難しく、簡単に頭に入ってこないところもあるかと思います。私も資料を読みまして、「地域協議会とはこういうことだったのか」というのを、3年過ぎてやっと少しわかるかなという感じです。それで会長でいいのかとも思うんですけども、そんな形ですので、皆様からも資料に目を通していただくなり、支所の方から色々お話を聞くなりして、理解を少しずつ深めていければいいかなと思っております。

今説明の中で、あるいは資料の中で、何かご質問等あれば受け付けて共有したいと思えますけれども、ありますでしょうか。

(特になし)

いきなり質問するのも難しいと思いますので、都度都度に色々な機会を通して、理解を深めていければなと思っております。それでは(1)を終わります。

次に、(2)「令和4年度地域枠予算活用事業について」、事務局から報告をお願いします。

○事務局

【令和4年度地域枠予算活用事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型【①行政主導型】

1 エディブルフラワースイーツ試食会開催事業

事業目的:「花のまち太田」の新たな取り組みとして、エディブルフラワー(食用花)での地域づくりを進めるため、試食会を開催し、地域の皆さんに知ってもらい、意見を聴取する。

事業団体:太田支所地域活性化推進室

申請額:462,199円

2 太田の伝統食継承事業

事業目的：おやき等の伝統食作りを通して、高齢世代と若年世代の世代間交流を図る。

事業団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：30,000円

3 太田交流の森倒木撤去事業

事業目的：「太田交流の森」内に倒木があったため撤去、処分する。

事業団体：太田支所市民サービス課

申請額：128,700円

○会長

ただ今、事務局から報告がありました。皆様からご質問などありましたらお願いします。

(特になし)

無いようですので、これで質疑を終わります。

なお、地域協議会は、市が決定した市民協働型、市民主導型、地域イベント応援型について、報告された内容によっては、意見を附すことになっております。今回はイベント型1件の報告がありましたが、申請団体に対して改善を求める点などのご意見はございませんか。

(特になし)

それでは、無いようですので、これで(2)の「報告」を終わります。

次に、(3)「令和5年度太田支所主要事業について」、各課から説明をお願いします。

【令和5年度太田支所主要事業について、各課から説明】

はい、ただ今各課から説明がありました。皆さんの方からご質問やご意見がありましたらお願いします。

(特になし)

それでは、これで次第6「説明・報告」を終わります。

続いて、次第7「協議」に入ります。(1)「大仙市公共交通活性化再生協議会委員の推薦について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局

こちらは、大仙市で実施している、乗り合いタクシーなどの地域公共交通に関する委員の推薦について、協議会会長である今野副市長から依頼文書が来ております。各地域協議会から1名、委員として推薦していただきたいということですので、ご協議をお願いいたします。

ここで事務局からのお願いといたしますか、提案がありまして、この地域公共交通活性化再生協議会委員ですが、太田地域協議会では副会長にお願いをしていた経緯があります。そこで、お忙しい所すみませんが、佐藤隆康副会長になっていただくよう、お願いいたします。よろしくご協議願います。

○会長

ただ今、事務局から説明と提案がありました。佐藤副会長、よろしいでしょうか。

○佐藤委員

皆さんがよろしければ。

○会長

皆さんも、佐藤隆康委員でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、佐藤副会長にお願いします。

次に、(2)「地域協議会開催時間について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局

最初にもお話ししましたが、地域協議会は委員の半数以上の出席が無いと会議が成立しません。そのため、委員の皆さんの職業等を考慮して、各地域で開催時間を決めています。太田では、今回もそうですが午前10時から開催しています。他の支所に状況を聞きましたが、午前に行っているところもあれば、午後2時や3時に開催している支所もあります。また、大曲と南外は午後6時からの開催となっています。

第6期の委員の皆さんの意見をお伺いいたしまして、次回以降の開催時間を決めたいと思いますので、ご協議をお願いいたします。

○会長

ただ今、事務局の方から説明がありました。地域協議会の開催時間について、皆様のご意見をお願いいたします。現状は10時ということでやっておりますけども、新しい委員もおりますし、皆様のご都合などあろうかと思えます。忌憚のないご意見をお伺いしたいと思えます。一人ずつご意見をいただきたいと思えます。

○佐藤委員

私は前期から委員をやらせていただいていますので、年5回であれば、今の時間でもいいと思います。

○清水川徹委員

私は何時でもいいので、都合が悪い方に合わせます。

○門脇逸人委員

初めてなので、何時が良いと言われても、そもそも農家なので時期によっては何時だろうとダメなこともあるので、特にありません。

○清水川幹宏委員

私も農家なので、時期によっては無理な時もあるんですけど、基本的には10時以降であれば、動ける可能性が高いです。

○鈴木美子委員

私も10時からでよろしいかと思います。

○安達美保委員

私も今までどおり10時でいいと思います。

○小松聖子委員

私もお店があって、何時がいいのかよくわからないのが正直なところなんですけども、皆さんの時間に合わせて、来れる範囲で参加させていただきたいと思います。

○高橋美智子委員

私も決められた時間でなるべく参加させていただきたいと思いますので、何時でもいいです。

○会長

ありがとうございます。皆様のご意見をまとめていくと、現状のとおり10時から開催し、都合のつく範囲でご参加いただけるということでしたので、10時からということでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは10時からということで決定させていただきます。これで次第7「協議」を終

わかります。

それではここで一旦休憩を取らせていただきます。

(午後 11 時 15 分 休憩)

(午後 11 時 21 分 再開)

○会長

それでは会を再開いたします。

次第 8「事業説明」に入ります。(1)「若者チャレンジ応援プロジェクトについて」、企画部若者チャレンジ推進室から説明があります。よろしくお願いいたします。

○新田若者チャレンジ推進室長

お疲れさまです。企画部若者チャレンジ推進室の新田と申します。本日は、昨年度から実施しております、「若者チャレンジ応援プロジェクト」についての説明とお願いに参りました。お手元の資料にしたがって説明いたします。5分程度の説明となりますので、どうかよろしくお願いいたします。

はじめに、「若者チャレンジ応援プロジェクト」につきましては、人口減少対策・少子化対策の取り組みの一つとして、若者の地元定着、そして若者による地域の元気創出につながる取り組みを展開しているプロジェクトでございます。このプロジェクトは、市をはじめ、市内企業、金融機関、商工団体、そして地域住民の皆様など、多くの方々と連携を図りながら、若者がチャレンジできる環境づくりを推進するものでございます。

はじめに、取り組みの一つである「だいせん Labo の運営」について説明いたします。「だいせん Labo」につきましては、挑戦する若者を総合的にサポートする相談窓口として開設しております。起業や創業の相談、夢の実現に向けた相談、地域の活性化・課題解決に向けた相談など、若い方々の様々な相談を受け付けております。Labo では、市内企業や大学、金融機関等々、多くの皆様との連携を図りながら、相談ケースに合わせたサポートに取り組んでいるところでございます。

昨年度は、延べ 135 件、実件数で言いますと 47 件の相談を受け付けております。相談の実績につきましては、企業・創業を実現したケースが 4 件、事業の拡大・課題の解決に至ったケースが 5 件、新たな取り組みの実施が 1 件となっております。こうした相談への対応につきましては、必要な情報の提供、人や業者の紹介・マッチングなど、様々なサポートを行っておりますけれども、その支援の一つとして、「若者チャレンジ応援補助金」というものを昨年度創設しました。

この補助金につきましては、2つのタイプに分かれております。一つ目の「チャレンジタイプ・課題解決タイプ」につきましては、40歳以下の方を対象としております。20

0万円を上限に交付する補助金となっております。特徴といたしましては、補助金の財源をふるさと納税の仕組を通じて、皆様からの寄付を財源にしているところでございます。昨年度は2件の提案事業がありました。10月に寄付を開始しておりますが、29名の方から寄付をいただいております。二つ目の「ユースチャレンジタイプ」につきましては、20万円を上限に交付するものです。こちらは、中学生・高校生・大学生などの学生を対象としているものでございます。こちらも、2件の提案事業を採択しております。

ここで採択事業について簡単にご説明させていただきます。一つ目は若手農業者の取り組みです。取組内容は、若手農業者の共存・共栄に向けて労働力を共有するなど、四つの取り組みを展開するプロジェクトです。現在は一般社団法人を立ち上げて、活動をスタートさせているところでございます。二つ目、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、大仙市の米、糀、水を利用した飲料「KOJI CLEAR」を開発した若手経営者の取り組みでございます。「made in だいせん」にこだわった商品を通じて、大仙市の魅力や特徴を国内外に発信する取り組みとなっております。

次に高校生の取り組みです。二つありますが、一つ目が秋田修英高校の学生5人が開催した講演会です。大曲市民会館小ホールを会場に開催し、当日は100人の方々が参加しております。二つ目ですが、大曲高校商業科3年生9名が開催したイベントです。昨年度大仙市で行われました秋田県種苗交換会の会場において、イベントブースを出店し、グラントパレス川端さんのサポートを受けながら開発したオリジナル弁当を販売しております。

このように、補助金につきましては、様々な若い方の取り組みに活用いただいておりますが、今年度も実施する予定となっております。詳細については、5月の広報と市のホームページでお知らせすることとしております。多くの皆様に活用していただきたいと考えております。以上、だいせん Labo と若者チャレンジ応援補助金について説明いたしました。

最後に、「だいせん Labo」につきましては、フォーシーズン1階のレンタルオフィス「ギャザー」内に設置しております。ご覧のとおり、新しく開放感がある、若い人が相談しやすい空間となっております。委員の皆様におかれましては、協議会活動やそれぞれの活動の中で、起業や地域活動などに挑戦しようとする若者が近くにいらっしゃれば、ぜひとも若者総合相談窓口の「だいせん Labo」を紹介していただくよう、若者チャレンジを応援する側としてのご協力をお願いしたいと考えております。また、こちらではセミナーの開催やワークショップの開催などを通じて、地域全体で若者の挑戦を応援する機運を高める取り組みも進めております。こうした際には、皆様にもお声掛けをさせていただきますので、ぜひともご参加いただけるようあわせてお願いいたしまして、私からの説明とさせていただきます。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。ただ今、説明いただきました「若者チャレンジ応援プロジェクト」について、何かご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

(特になし)

それでは、無いようでございますので、質疑を終わります。ありがとうございました。
それでは、次第9「その他」でございますが、皆様から何かございませんでしょうか。

(特になし)

それでは、無いようですので、これで終了となります。委員の皆様には、ご難儀をお掛けしますが、これからよろしくお願ひします。

それでは、事務局の方から何かございますか。

○事務局

本日はありがとうございました。次回の開催は、まだ確定はしておりませんが、大体2か月に1回程度開催したいと考えております。7月上旬を目途に考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○会長

はい、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

(午後11時33分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

佐藤 隆康

清水川 徹
